

情報公開用文書 (単施設研究用)

西暦2026年 2月5日 作成
(第1版)

研究課題名	急性下肢動脈閉塞症症例の調査
研究の対象	急性下肢動脈閉塞症の患者さまで 2023 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 30 日までの間に動脈閉塞症の治療を受けた方
研究の目的	急性下肢動脈閉塞症の治療において、従来は外科的血栓摘除が広く行われてきましたが、2023 年から血栓吸引デバイス (Indigo® Aspiration System) による血栓吸引療法が行われることが増えてきました。 血栓吸引デバイス (Indigo® Aspiration System) による血栓吸引療法は比較的新しい治療法ですので、その効果や副作用の程度について、国内の報告が少ないため、明らかにしていく必要があります。外科的血栓摘除と血栓吸引デバイス (Indigo® Aspiration System) による血栓吸引療法の治療成績や副作用の程度を比較し、今後の医療に役立てることを目的としています。
研究の方法	診療録から情報を収集して、治療効果、合併症の有無、入院期間、再発率について検討します。 いずれも通常の診療で得られた情報・検体を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究の期間	研究機関の長の許可日 ~ 西暦2027年3月31日
研究に用いる 試料・情報の種類	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 ・背景 (既往歴、合併症)、年齢、性別、手術情報等、輸血の有無 ・身体所見等 ・検査データ (採血、画像検査、心電図) ・転帰
試料・情報の 授受	本研究では、外部機関との試料・情報の授受はありません。
個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号 (識別コード) で管理します。必要時に個人を照合できるよう対応表とよばれる個人と識別コードを対応させた表を作成しますが、その表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。

<p>試料・情報の管理 について 責任を有する者</p>	<p>研究責任者:横浜南共済病院 心臓血管外科 医長 鈴木清貴</p>
<p>利益相反</p>	<p>利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。利益相反はありません。</p>
<p>研究組織</p>	<p>【研究機関と研究責任者】 横浜南共済病院 心臓血管外科 (研究責任者)鈴木清貴</p>
<p>本研究に関するご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記の連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。 また、情報・試料が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先 〒236-0037 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-21-1 国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 電話 045-782-2101 (代表) (平日 8 時 30 分から 17 時 15 分まで) FAX 045-701-9159 連絡先対応者 心臓血管外科 役職 医長 責任者名 鈴木清貴 *お問い合わせ内容によっては、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことがあります。あらかじめご了承ください。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

西暦 2026年 4月 20日 承認